

※本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。



2026年3期 決算補足資料

2026年5月13日

東証スタンダード 6357

三精テクノロジーズ株式会社



モノを動かす技術で世界中のお客様にとびきりの笑顔と感動を
ご提供すべくテルミック、S&S、Vekoma、FORRECと共に
常に技術と品質を追求し一段の進化・成長を目指します

TABLE OF CONTENTS

P3		2026年3月期	連結業績ハイライト
P23		2027年3月期	連結業績予想
P27		中期経営計画の進捗状況	
P38		会社概要	

01

2026 年 3 月期

連結業績ハイライト

(単位 : 百万円)	2025年3月期	2026年3月期	前期比
受注高	78,841	81,552	+ 2,711 (+3.4%)
売上高	61,861	73,070	+11,208 (+18.1%)
営業利益	4,797	6,570	+ 1,772 (+37.0%)
経常利益	5,293	6,792	+1,498 (+28.3%)
親会社株主に 帰属する当期純利益	2,995	5,102	+2,106 (+70.3%)

受 注 高 ➡ 遊戯機械事業での大型案件獲得や舞台設備事業での仮設舞台装置や改修工事の受注堅調

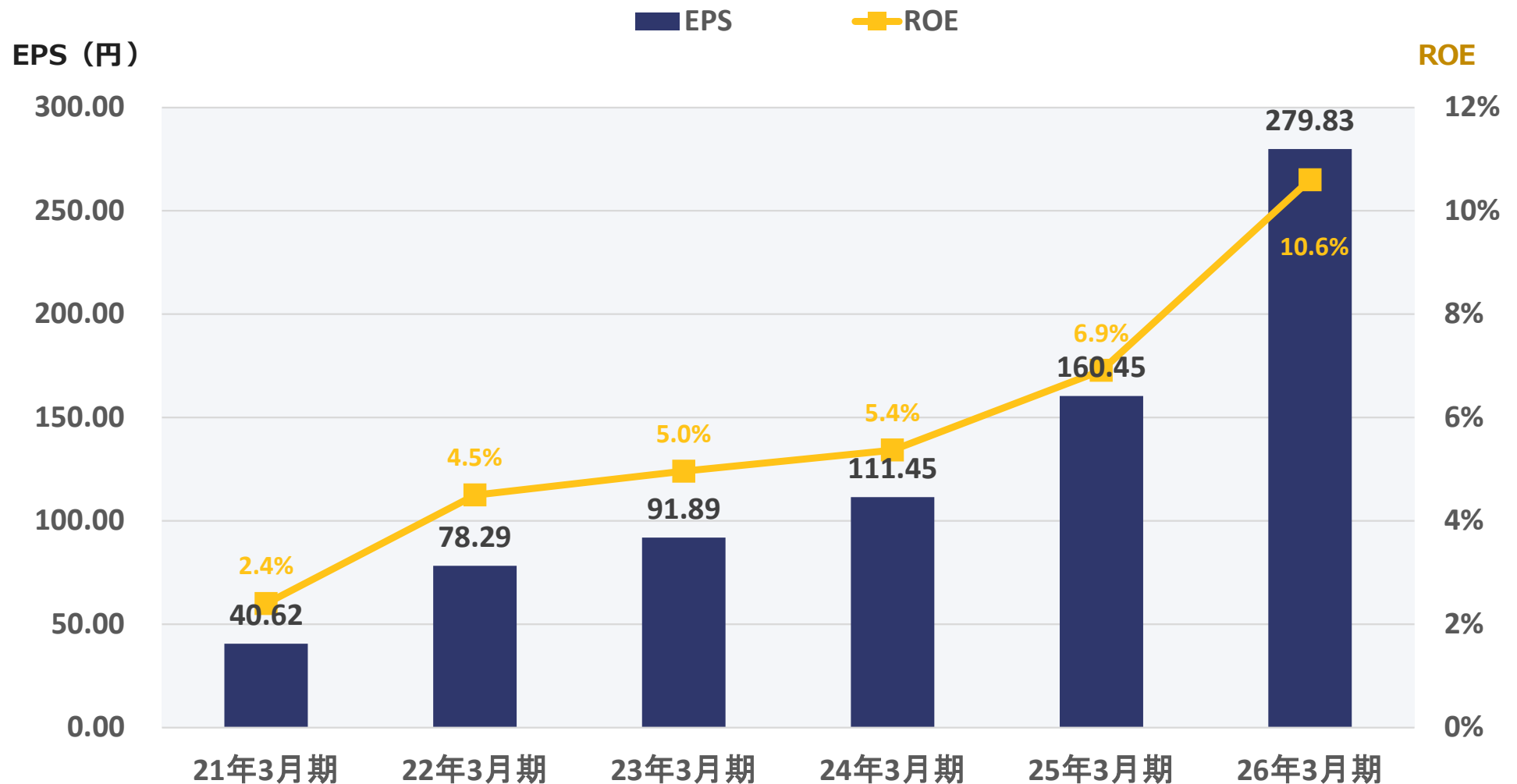
売 上 高 ➡ 好調な受注環境のもと、大型工事などが順調に進捗

経 常 利 益 ➡ 売上の伸びに加え、採算改善に注力した結果、大幅増益

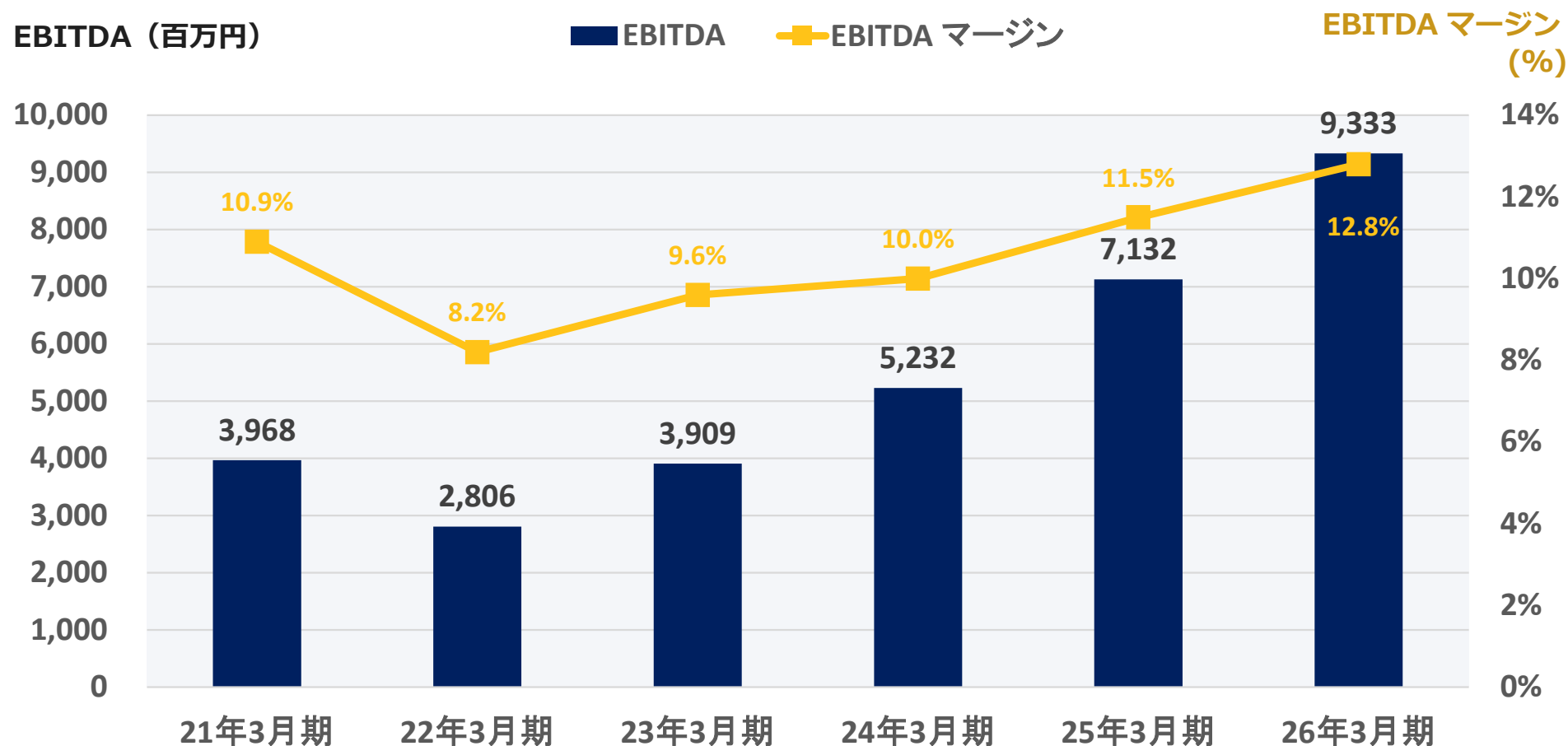
01 2026 年 3 月 期 : 売上高 ・ 経常利益



01 2026年3月期：一株当たり利益（EPS）・自己資本利益率（ROE）



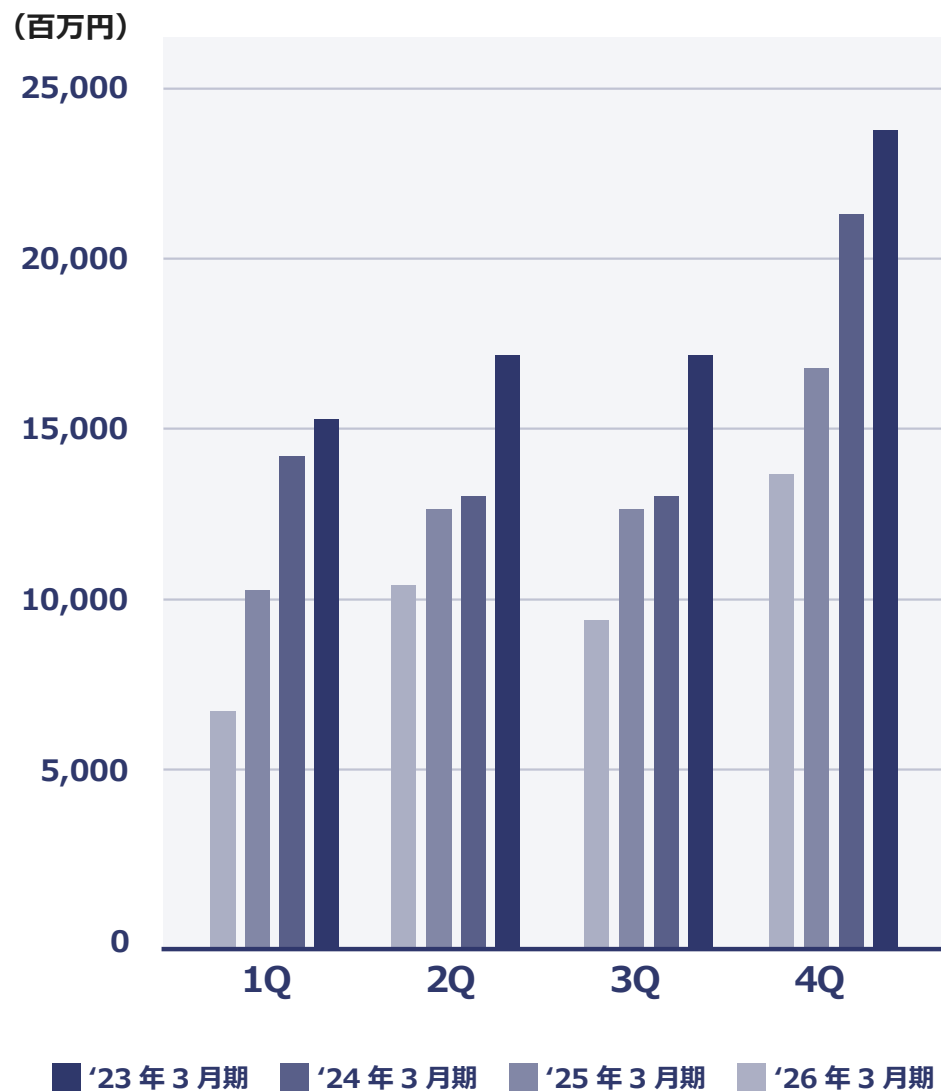
2026年3月期のROEは株式売却益等もあり10%台を達成



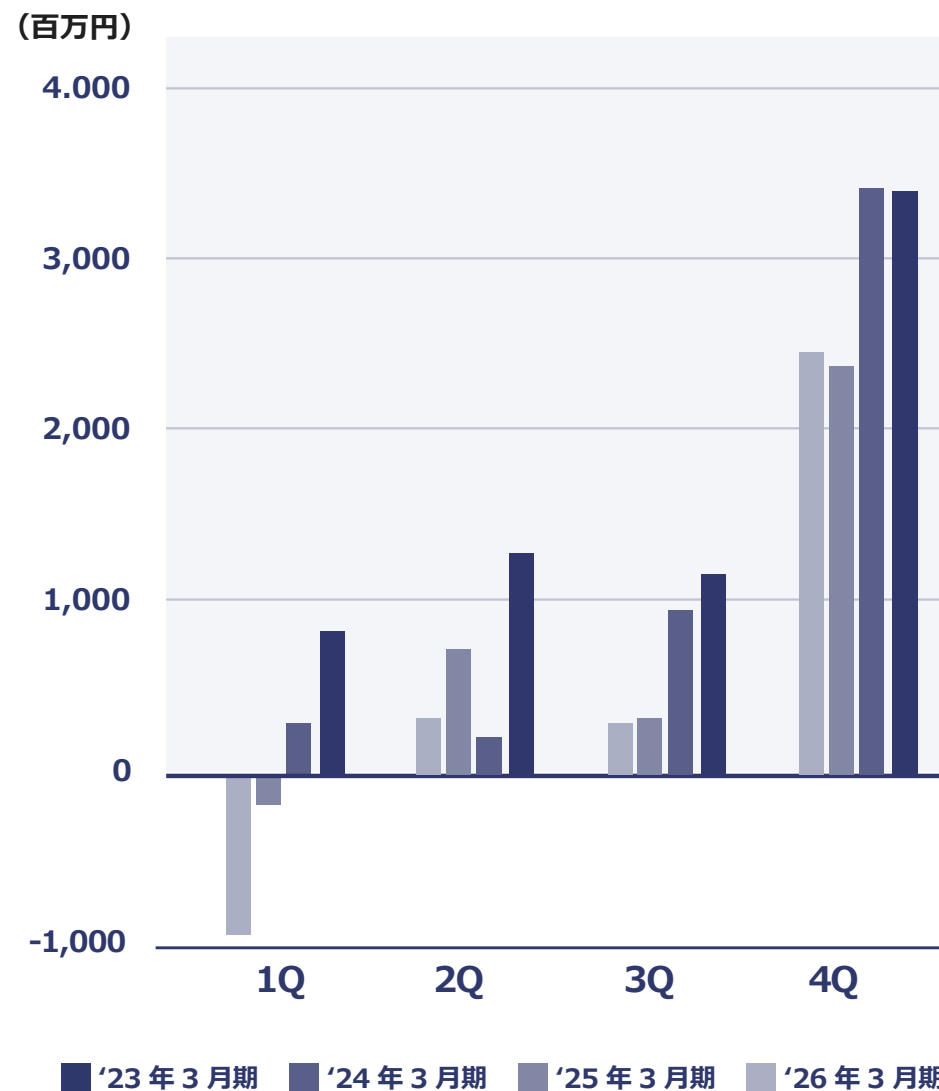
マージンの改善が伴うEBITDAの拡大

注 1 : 償却前利益 = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

四半期売上高推移



四半期営業利益推移





遊戯機械事業を中心に堅調な受注が継続
売上高とともに受注高、受注残も過去最高を更新

【セグメント別概況】



遊戯機械事業

国内外で受注した工事が順調に進捗し、補修部品の需要も引き続き堅調に推移。



舞台設備事業

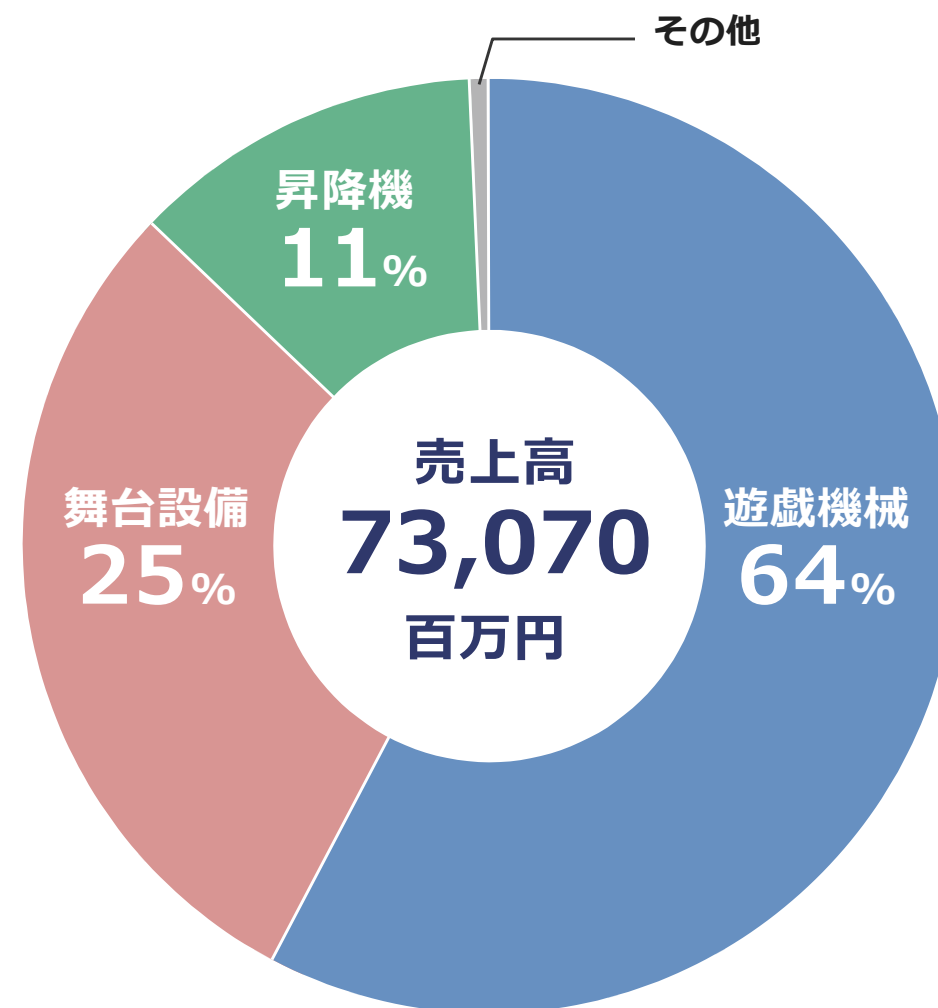
コンサートやイベント向け仮設舞台装置の需要が好調なことや、常設施設でも改修工事が着実に進捗したことにより堅調に推移。



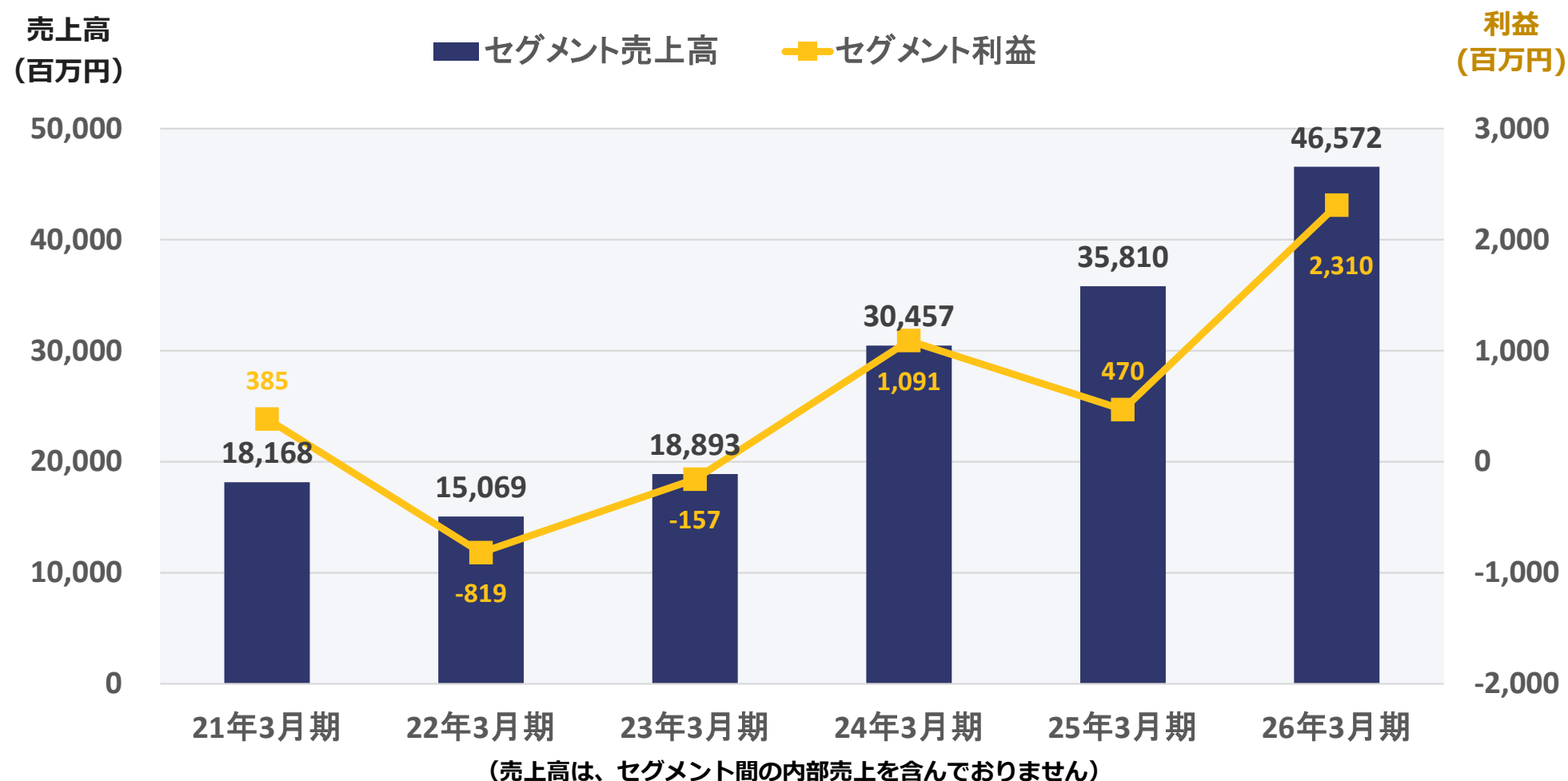
昇降機事業

公共施設、集合住宅用の新設・改修工事が着実に進捗し、保守・メンテナンス事業も引き続き安定的に推移したことに加え、コスト削減等にも注力。

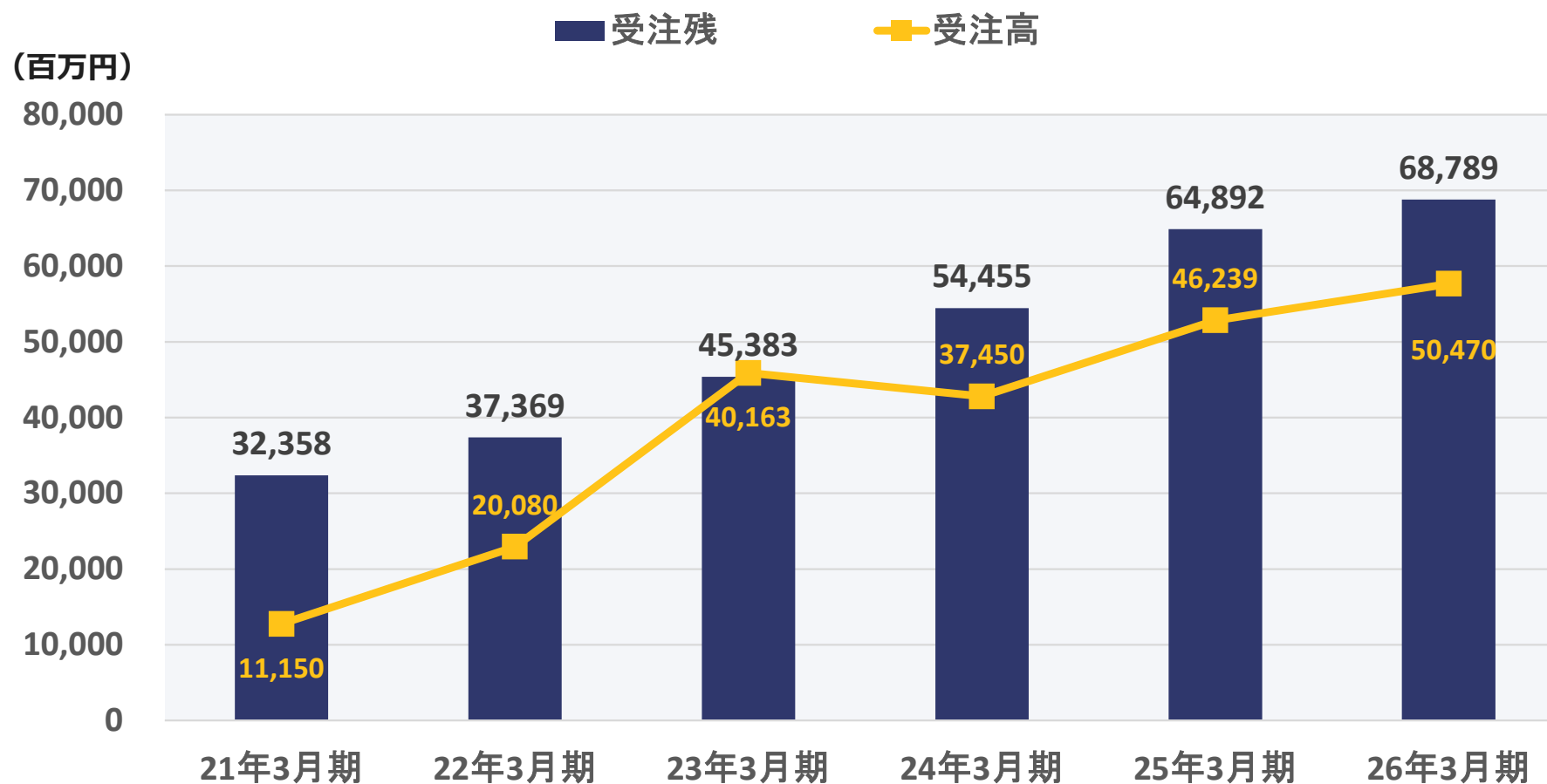
【2026年3月期 セグメント売上高比率】



01 2026 年 3 月 期：遊戯機械事業（売上高・利益）



国内外で受注した大型工事などが順調に進捗、補修部品の需要も引き続き堅調に推移。
前期に計上した不採算工事等の影響もなくなり増収増益。



北米を中心に、欧州、アジアなどグローバルで着実にビジネスを拡大
特にVekomaでの大型案件の受注傾向が継続

米国ハーシーパーク大型スリルライド「Twizzlers Twisted Gravity」納入

米国ペンシルベニア州のハーシーパークにてオープンした「Twizzlers Twisted Gravity」は、人気キャンディブランド「Twizzlers」をテーマにした大型スリルライドです。

巨大なアームが回転しながら上下動するダイナミックな構成により、浮遊感とスピード感が連続する迫力ある体験を実現しています。

鮮やかなカラーリングと視認性の高いアイコンックな外観は、エリア全体の魅力を高めており、テーマ性とスリルを融合させたアトラクションとして、パーク内でもひととき存在感を放っています。



北米初スーパーブーメランコースター「THE FLASH: Vertical Velocity」オープン

北米初となるスーパーブーメランコースター「THE FLASH: Vertical Velocity」が、シックス・フラッグス・グレートアドベンチャー（米国ニュージャージー州）にてオープンしました。

本アトラクションは、スーパーヒーロー「THE FLASH」の超高速の世界観をテーマに、前進・後進を繰り返す複数回のローンチや宙返りなど、最新のスリル要素をコンパクトな敷地に凝縮しています。

最高時速約96km、高さ約52mというダイナミックな構成でありながら、身長制限は約122cm以上に設定されており、幅広い層の来園者が楽しめるコースターとして高い注目を集めています。



ナイアガラ・パークス Table Rock Centreにフライングシアター「Niagara Takes Flight」が開業

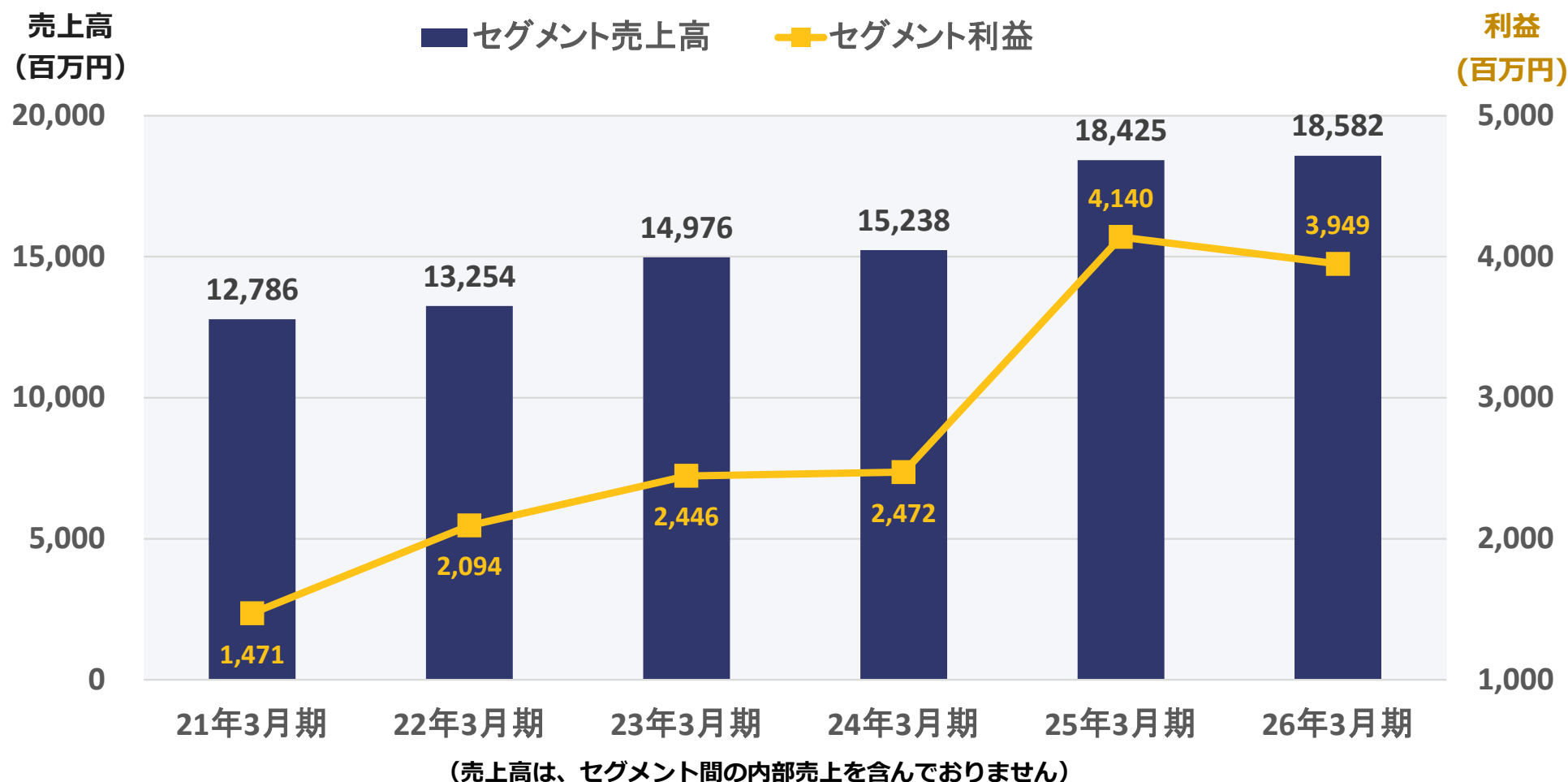
ナイアガラ・パークスのテーブルロック・センター（ウェルカムセンター）に、総額2,500万ドル規模のフライングシアター「Niagara Takes Flight」が2025年8月29日に開業しました。

FORRECは2023年初頭の市場調査段階から本プロジェクトに参画し、Brogent社と共にストーリー、内装、プレショー(フライング体験前の導入演出)、物販を企画しました。

ジェームズ・キャメロンも参加したプレショーのナレーションの後、180度ドーム映像と風や霧など多様な演出効果が組み合わさり、ナイアガラの雄大な風景の中を飛行するダイナミックな感覚を再現しました。本施設において、ナイアガラをテーマに高い没入感を備える総合体験を実現しました。

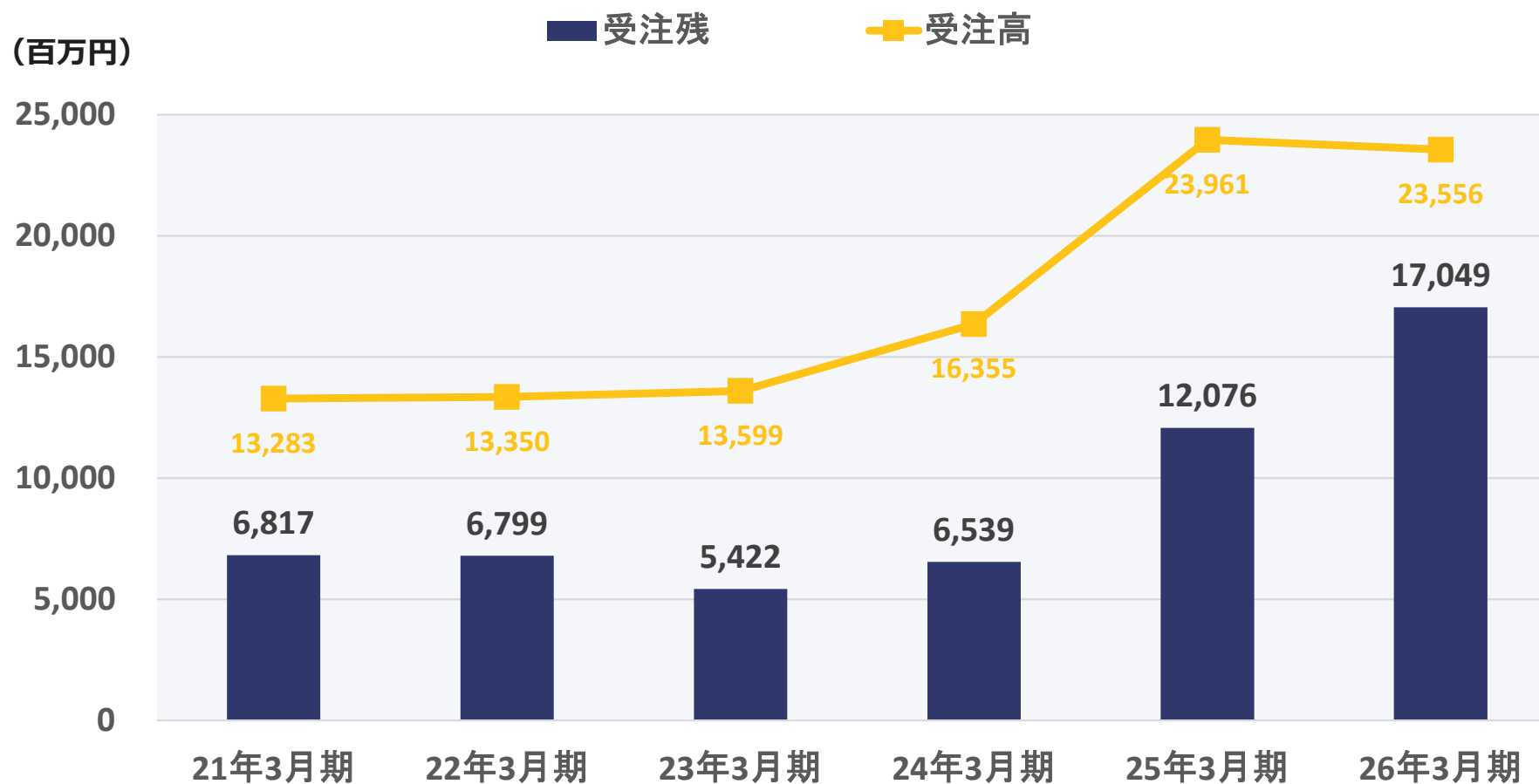


01 2026年3月期：舞台設備事業（売上高・利益）



仮設舞台事業ではコンサートやイベント向け需要が引続き好調

常施設設でも改修工事が着実に進捗



改修工事、仮設舞台装置を中心に需要に対応、
高水準の受注高を維持し、受注残も増加

宮川町歌舞練場に舞台設備を納入

春は「京おどり」、秋は「みずゑ會」。

京の雅が息づく宮川町歌舞練場は、明治・大正・昭和を経て2025年に生まれ変わりました。

当社は、伝統技芸の魅力をいっそう引き立てる舞台づくりを目指し、舞台面に小迫り、花道にはすっぽん迫りを設置、舞台上の各種吊物バトンのご要望に応じて電動・手動の2方式を納入。

客席側では、和の趣あふれる棧敷幕の昇降装置を手がけています。

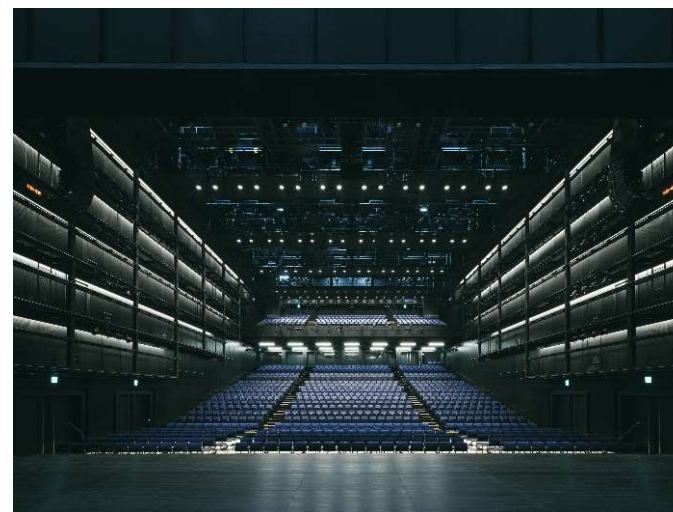


MoN Takanawa (TAKANAWA GATEWAY CITY) Box1000・Box300に舞台機構を納入

2026年3月28日、JR東日本が「100年先の心豊かなくらしのための実験場」として推進するTAKANAWA GATEWAY CITYがグランドオープンし、文化の実験的ミュージアム「MoN Takanawa」も同日に開館しました。

当社は同施設の劇場空間に舞台機構を納入し、Box1000では日本の劇場として初となるDMX制御の常設機構システムにより、照明と動きが同期する高度な空間演出の実現に貢献しています。また、Box300においても可動性を生かした柔軟な空間運用を支え、施設全体の表現力と運営性の向上に寄与しました。

今後も独自技術を通じて、新たな文化発信拠点の価値向上に貢献してまいります。



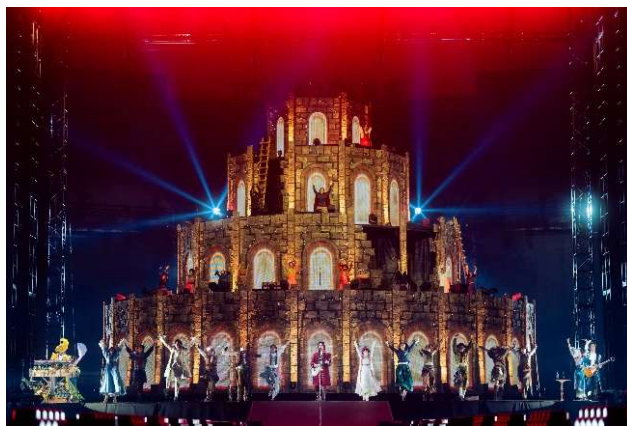
クレジット： 高木康行

テルミック、Mrs. GREEN APPLE 5大ドームツアー「BABEL no TOH」のステージ演出に参画

Mrs. GREEN APPLE初の5大ドームツアー「DOME TOUR 2025 “BABEL no TOH”」（全国5都市12公演、約55万人動員）に携わりました。

巨大なセットで造られたメインステージ“バビロンの街”には全長約50mのLED開閉装置や各種電飾を設置しました。さらに、客席側へ迫り出す高さ約20m・重さ約100トンの“バベルの塔”のベースはムービングステージとなっており、塔全体には電飾が施されています。

本番操作はもちろん、設営から撤去に至るまで全工程で安全性に配慮し、サービスを提供いたしました。



SEVENTEEN「WORLD TOUR [NEW_] IN JAPAN」4都市10公演のステージ演出に参画

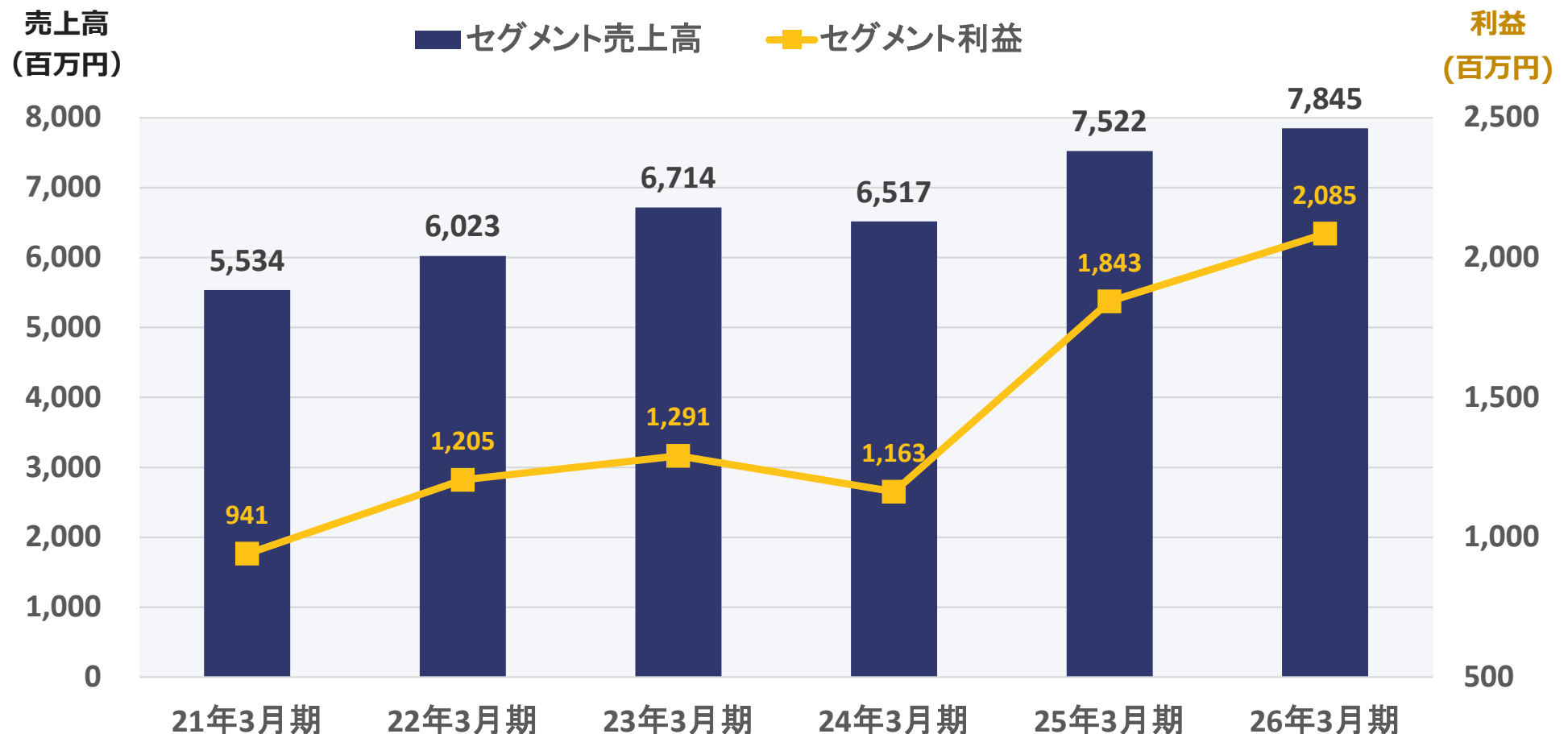
SEVENTEENのワールドツアー日本公演「SEVENTEEN WORLD TOUR [NEW_] IN JAPAN」（全国4都市10公演 約42万人動員）に携わりました。

会場内には数種類のリフターを組みこみ、各所からのアーティストの登場や迫り上がり演出に活用されました。また会場中央のムービングステージには約160枚のLED Visionも盛り込み、機構と電飾両面から高度な演出を可能としました。

今後も確かな技術力と安全性を基盤に、エンターテインメント業界の発展に貢献してまいります。

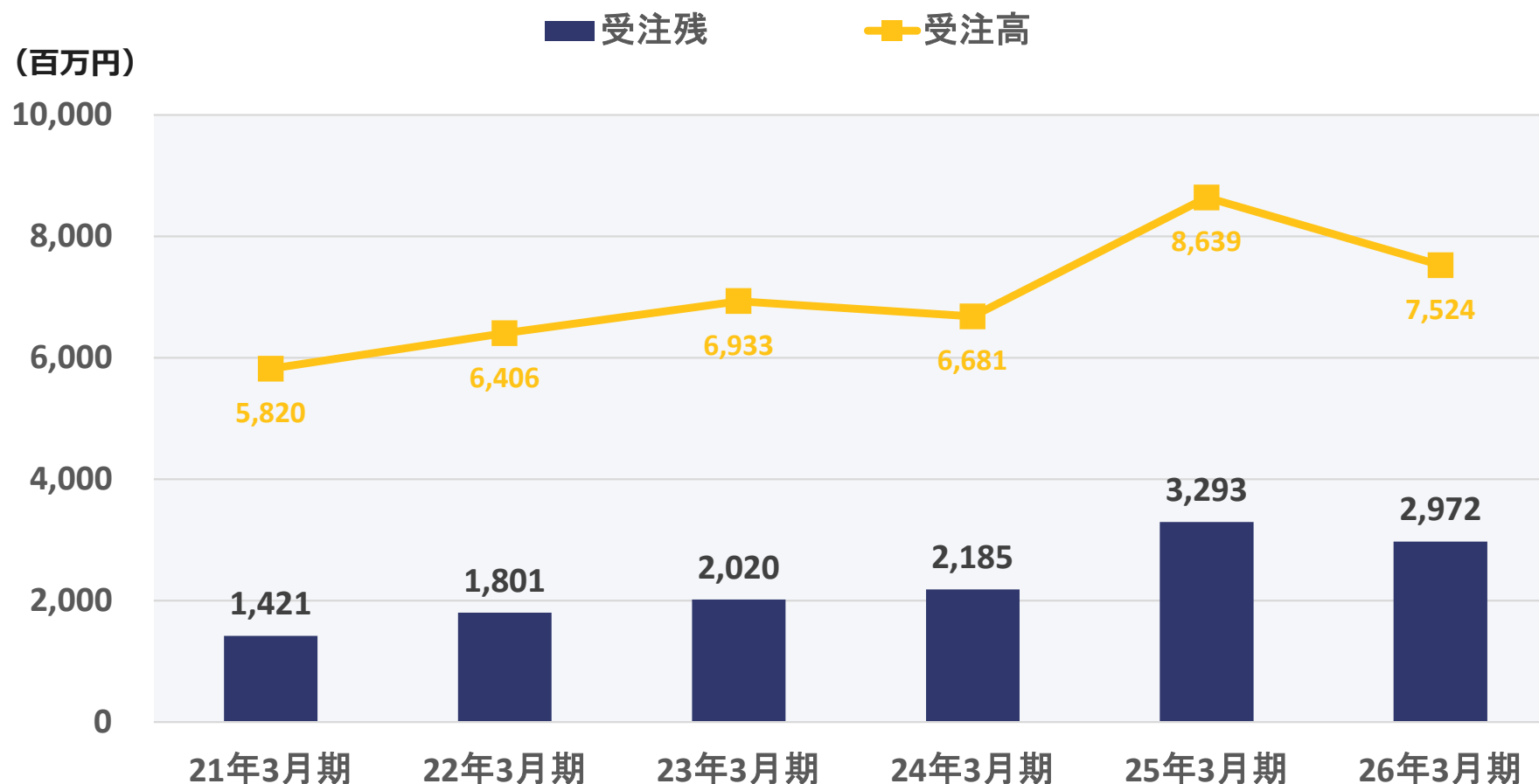


01 2026年3月期：昇降機事業（売上高・利益）



（売上高は、セグメント間の内部売上を含んでおりません）

公共施設、集合住宅用の新設・改修工事が着実に進捗、保守・メンテナンス事業も引き続き安定的に推移したことに加え、採算改善に注力し増収・増益

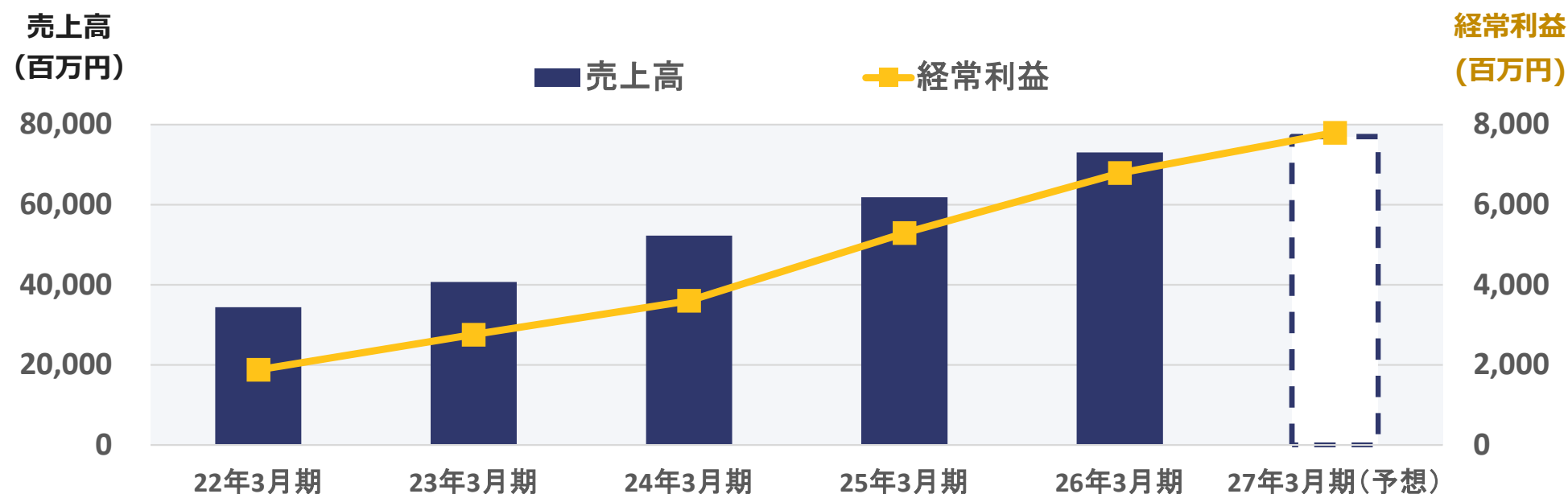


生産の平準化に留意しつつ、採算を意識した
受注獲得に注力し高水準の受注残を維持

02

2027 年 3 月期
連結業績予想

(単位：百万円)	2026年3月期	2027年3月期	前期比
売上高	73,070	77,000	+ 3,929 (+5.4%)
営業利益	6,570	7,700	+1,129 (+17.2%)
経常利益	6,792	7,800	+1,007 (+14.8%)
親会社株主に帰属する当期純利益	5,102	5,300	+ 197 (+3.9%)



配当政策

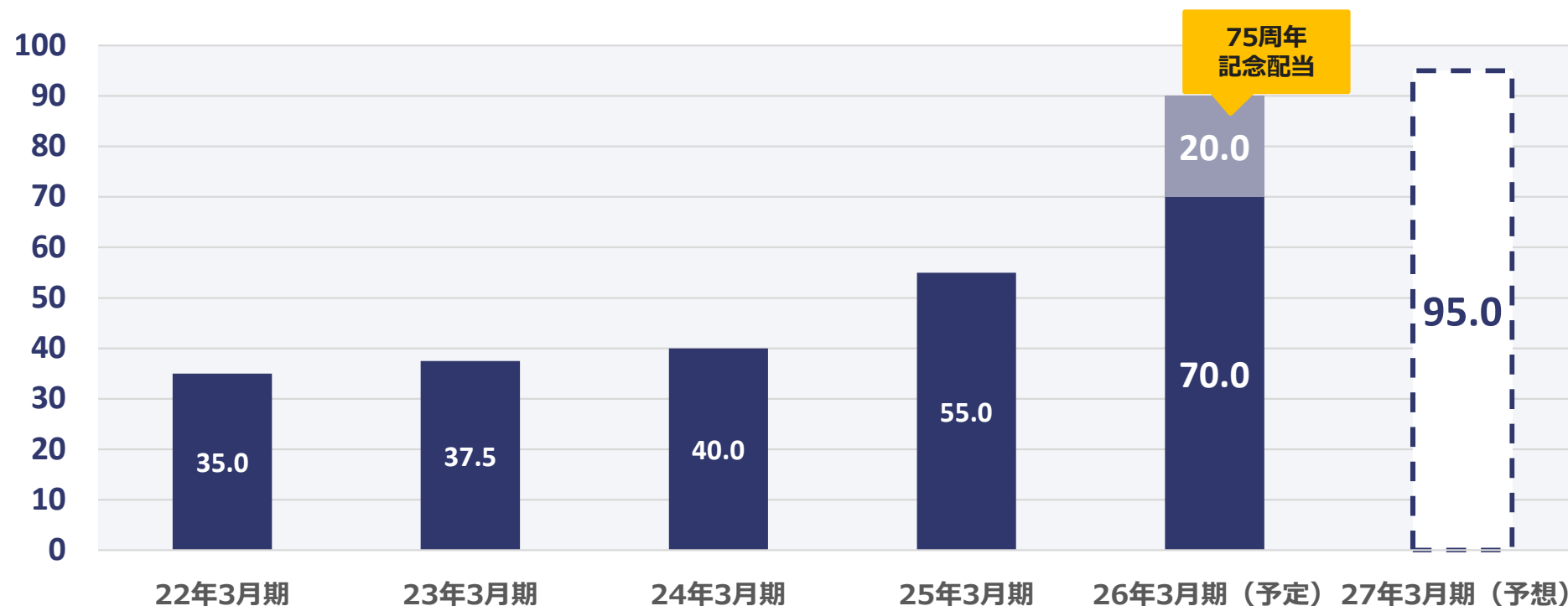
株主への利益還元を重要な経営課題の一つと考え、以下の点を総合的に勘案し配当金を決定しており、2026年3月期の年間配当は90円を予定。2027年3月期の年間配当は95円への増配を予想。

1 長期かつ安定的な利益還元

2 当期利益の水準

3 手持受注工事の期末残高

年間配当 / 一株 (円)



さらに、2026年3月期は約8億円の自己株式を取得（総還元性向は47.7%）
2027年3月期は10億円の自己株式を取得予定（総還元性向は50.6%程度を予想）

03

中期経営計画の進捗状況

計画名称 / 期間	新中期経営計画 2026/3期 ～ 2028/3期（3年間）		
テーマ	動かす技術で社会に笑顔を“TEAM Sansei”の深化と進化！ *TEAM=Theater（舞台）、Elevator（昇降機）、Amusement（遊戯）、Maintenance（保守・改修）		
基本方針	▶ 既存3事業の事業拡大と採算性向上		
	 遊戯機械事業 国内外で一段のグループ連携により販売力、製品競争力を高める。	 舞台設備事業 新設、改修、仮設の大口案件に着実に対応、アリーナや新分野への取組みにより受注、売上の成長を図る。	 昇降機事業 安定収益事業として、保守改修と合わせて、収益力の向上を目指す。
▶ 既存3事業の事業拡大と採算性向上 ▶ 新たな柱となる事業分野への参入（M&A含む） ▶ 資本効率性を一段と意識した経営 ▶ 目標：ROE10%以上、PBR1倍以上			



グローバルなアミューズメントライド企業としての 事業拡大と安定化

中計重要施策（01-03）

01

（S&S、Vekoma、FORREC）
グループ間協働による
国際ビジネスの
競争力の強化

02

ターゲット別の
製品ラインアップ
整備と
製品開発

03

高度化する
プロジェクトの
要求水準に見合う
技術力と
組織力の向上

▼ 中計進捗（実績） | 2026年3月期末時点 ▼

01

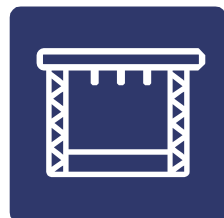
グループ間協働による
案件がグローバルで
複数実現。

02

無軌道ライド等
グループ間協働の
製品ラインナップ整備も進捗。

03

専門性を重視した人員配置をしたことで、
高度な顧客ニーズに
応える組織体制を整備。



総合エンターテインメントを支える企業グループとしての事業拡大

中計重要施策（01－03）

01

営業力強化により
改修需要に
確実に対応

02

拡大が見込まれる
コンサート需要の
獲得

03

新しい成長分野
の見極めと事業
の拡大

▼ 中計進捗（実績） | 2026年3月期末時点 ▼

01

常設の大型改修案件に
着実に対応

02

積極的な人員増強による現場運営体制の整備や、吊物・リフター等新機材への積極投資。

03

アリーナ新規案件受注に注力。コンテンツ・クリエイティブ関連企業への技術提案を継続実施中。



安定収益事業としての事業拡大

中計重要施策（01－03）

01

新設案件に加え
増加する改修需要に
確実に対応

02

生産性向上と
一段の安全性向上を
追求

03

着実な事業拡大に
向け製品開発や
他社との協業を
推進

▼ 中計進捗（実績） | 2026年3月期末時点 ▼

01

繁忙期以外への
納期変更等により
需要増に対応。

02

部品構成の見直しや生産部門
との連携強化によるコスト
低減や保守部門との連携強化
による故障出勤率の
低減が実現。

03

対象分野や協業先の
具体化を検討予定。



生産能力向上に向けた設備投資

中計重要施策

- ・ Vekomaでの新オフィス・工場の建設
- ・ スマートで働きやすい環境の整備

中計進捗（実績）2026年3月期末時点

- ✓ Vekomaでの新組立工場が稼働
- ✓ Vekomaでの新オフィス建設中



国内外グループ会社との人材・技術交流における製品開発向上

中計重要施策

- ・ 国内外の市場における、販売力、製品競争力の強化
- ・ 技術開発、クリエイティブ人材の育成

中計進捗（実績）2026年3月期末時点

- ✓ 遊戯機械部門の国際協業が具体的に進展
- ✓ S&Sへの技術者トレーニーを継続中



情報システム機能強化（DX推進及びリスク管理体制強化）

中計重要施策

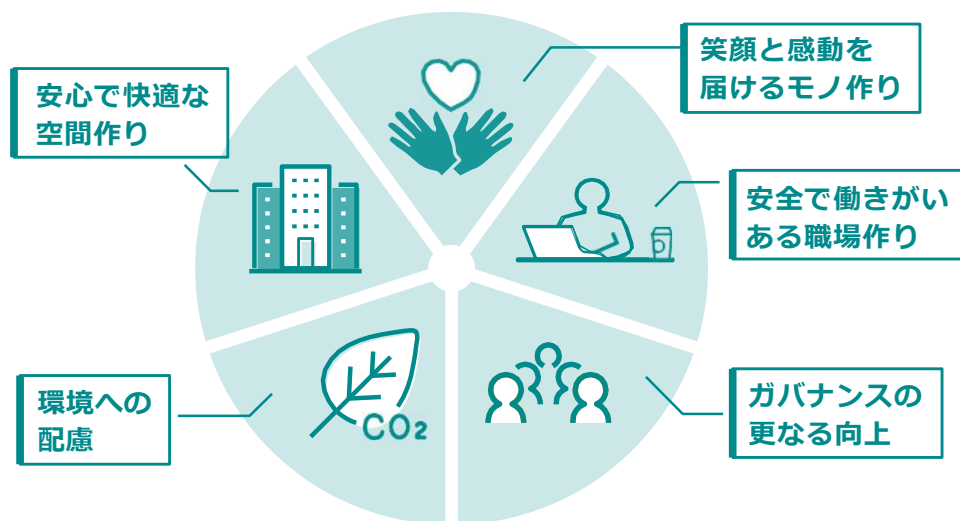
- ・ 生成AI、自動化技術の活用による生産性の向上
- ・ 高度化するサイバー攻撃に対応した情報セキュリティ強化

中計進捗（実績）2026年3月期末時点

- ✓ アイデア創出、社内ナレッジ検索、データ分析等多岐に亘りAIを活用
- ✓ 国内外の子会社も含めて、グループ全体の情報セキュリティ体制の再構築と一段の高度化に注力

基本的な 取り組み方針

世界中のお客様に笑顔と感動、そして安全で快適な暮らしを提供することを通して、持続的な発展と社会課題の解決に貢献し、中長期的に企業価値を向上させていく。



ESGを意識した業務への取り組み、
人材育成、働く環境の整備等を通した、
サステナビリティ対応の推進

人材への投資

中計重要施策

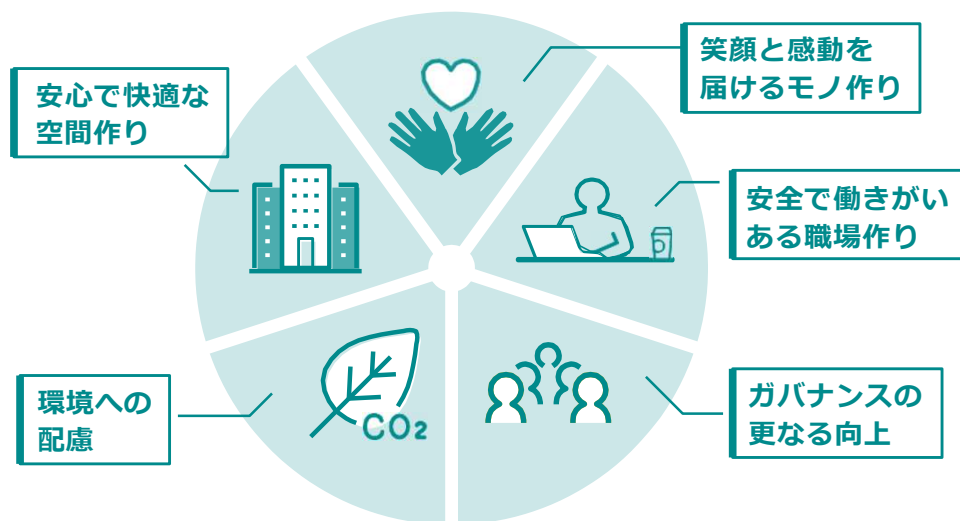
- ・各部署における中核人材の育成強化
- ・社員モチベーションアップ及び生産性向上のための人事制度改革
- ・従業員のワークライフバランスの充実（働きやすい労働環境の整備）

中計進捗（実績）2026年3月期末時点

- ・2026年度から新人事制度の運用を開始
- ・人事制度改定に伴い、階層別研修を見直し
- ・若手中心のジョブローテーションも実施予定
- ・2025年10月施行の育児介護休業法改正対応完了
- ・くるみん認定取得の検討。育児休暇取得率は男女とも100%を実現

基本的な 取り組み方針

世界中のお客様に笑顔と感動、そして安全で快適な暮らしを提供することを通して、持続的な発展と社会課題の解決に貢献し、中長期的に企業価値を向上させていく。



ESGを意識した業務への取り組み、
人材育成、働く環境の整備等を通した、
サステナビリティ対応の推進

環境対応への取り組み

中計重要施策

- ・国内連結全体での2035年CO2削減目標、2013年比△60%を目指す（スコープ1、2）
- ・日本国内外グループ全体で、環境に配慮した設計、製造、施工に努め、環境負荷軽減に取り組む
- ・太陽光発電の拡大、設計・生産・施工での環境負荷軽減への取り組み実践

中計進捗（実績）2026年3月期末時点

- ・神戸事業所の太陽光発電増設等により、
- 2013年度比45%削減
- 2030年度目標△46%は達成見込み
- 35年目標△60%に向け追加施策を検討
- ・テルミック吉川工場新棟への太陽光発電設備設置、Vekoma新工場の太陽光パネル設置などグループを挙げて環境負荷軽減に取り組む

課題

- 海外子会社のれん償却負担（円安により増大）を上回る収益力の向上
- 原材料費及び人件費の高騰に対応する付加価値の向上
- 金利上昇、株価変動に伴う資本コストの上昇傾向

資本収益性を意識した事業戦略実行（中期経営計画）

01 収益性の強化

受注、設計、製作、据付の各工程における採算改善への取組による収益性の向上

02 株主還元の強化

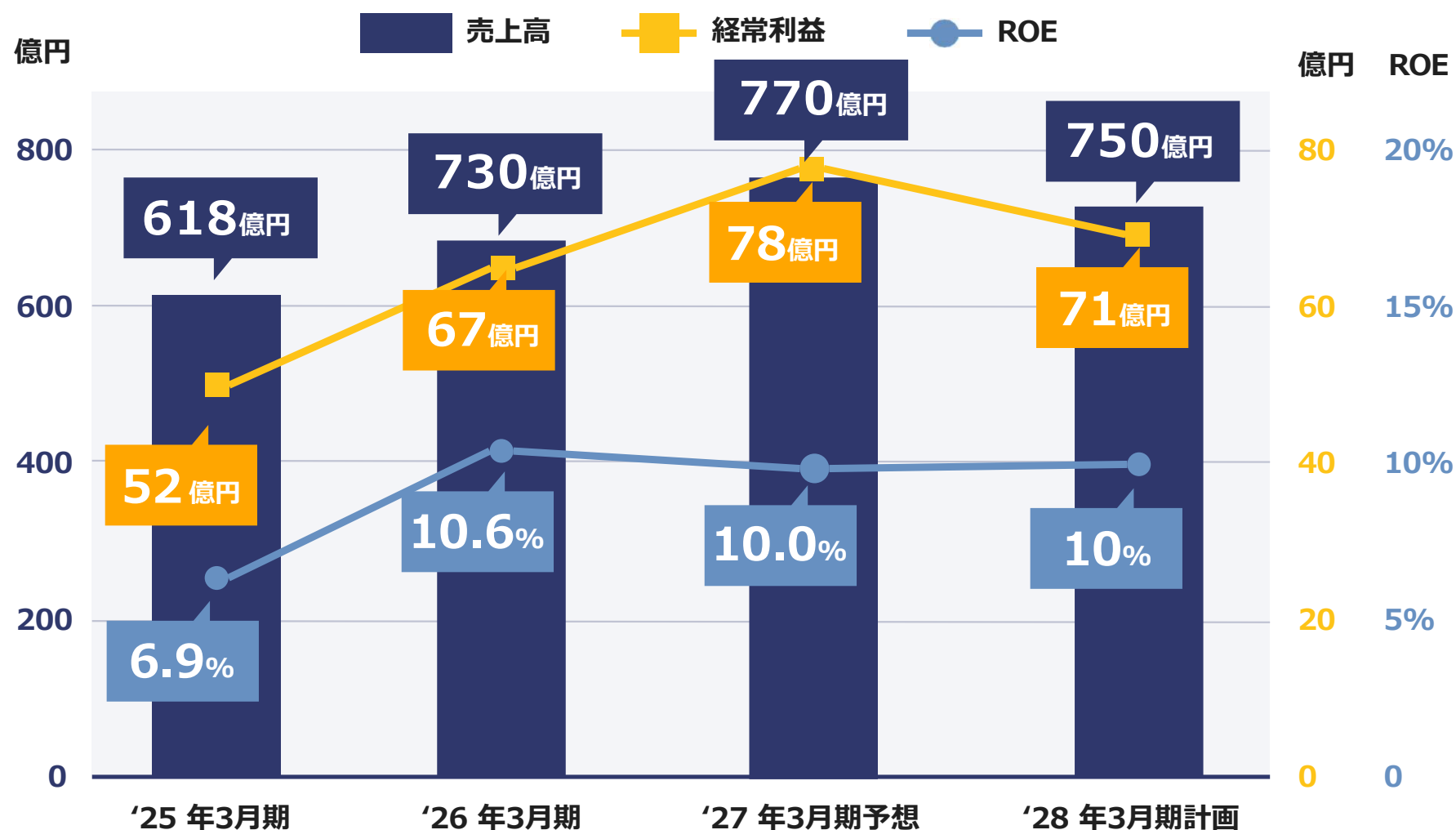
自己株式の取得（8億円）や20円の記念配当を含む35円の増配（予定）など株主還元の拡充

03 IR活動の強化

個人投資家向け会社説明会の初開催や機関投資家面談の大幅増（対前年比4倍）などIR活動の強化

中計進捗（実績）2026年3月期末時点

**2026年3月期は
ROE10.6%、PBR 0.76 倍（3月末時点）に向上**



2026年3月期のROEは株式売却益等の計上により10%台
2027年3月期業績予想には中東における売上を約40億円見込む
中東情勢等不確定要素があり、中計最終年度の目標値は据え置いている

キャッシュイン

3 期累計
営業キャッシュフロー

約 **240** 億円

資金調達および資産
(株式等) 売却

キャッシュアウト

配当および
自己株式取得
60 ～ 70 億円 (予想)

事業投入

- ・ 設備投資 : 100 億円
 - ・ IT / 人的資本投資
 - ・ 研究開発投資
- 10 億円

M&A

株主への利益還元を重要な経営課題の一つと考え、下記の 3 点を総合的に勘案し配当を決定

- 1 長期かつ安定的な利益還元
- 2 当期利益の水準
- 3 手持ち受注工事の期末残高

手許資金等を活用した戦略的
M&A によるインオーガニックで
非連続な成長実現へ

2026 年 3 月期末時点の
手許現預金 : 280 億円
(これに対する契約負債 : 120 億円)

04

会社概要

会社名

三精テクノロジーズ株式会社

設立

1951年2月27日

資本金

3,251百万円（2026年3月末現在）

売上高（連結）

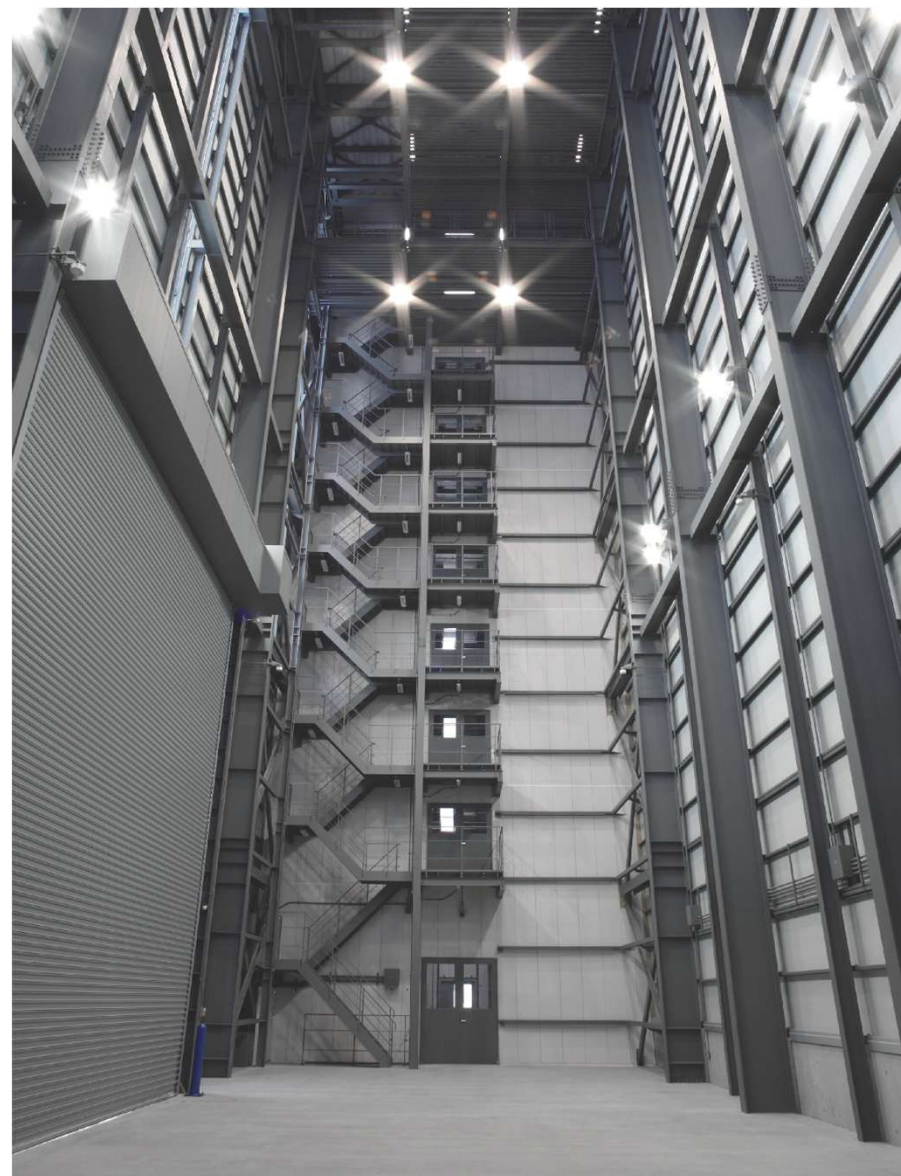
73,070百万円（2026年3月期）

従業員（連結）

1,405人（2026年3月末現在）

上場取引所

東京証券取引所 スタンダード市場

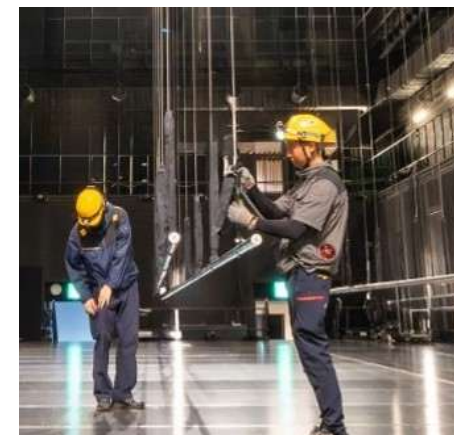


テーマパーク、その世界に入り込んで、記憶に残る楽しい時間を過ごすこと。
グループ企業である S&S Worldwide（アメリカ）、Vekoma Rides（オランダ）
FORREC（カナダ）と共に、コンセプトデザインからアートディレクション、
そして遊戯機械の提供まで、その素晴らしい体験を世界中にお届けします。



1952年から舞台機構の老舗メーカーとして国内トップの納入実績を有しています。
その豊富な経験を元に、様々な用途・演出に対応する常設の舞台機構設備を提供するとともに、テルミックは国内大物アーティストのコンサートからTV番組、イベントに向けて様々なサービスを提供してきました。

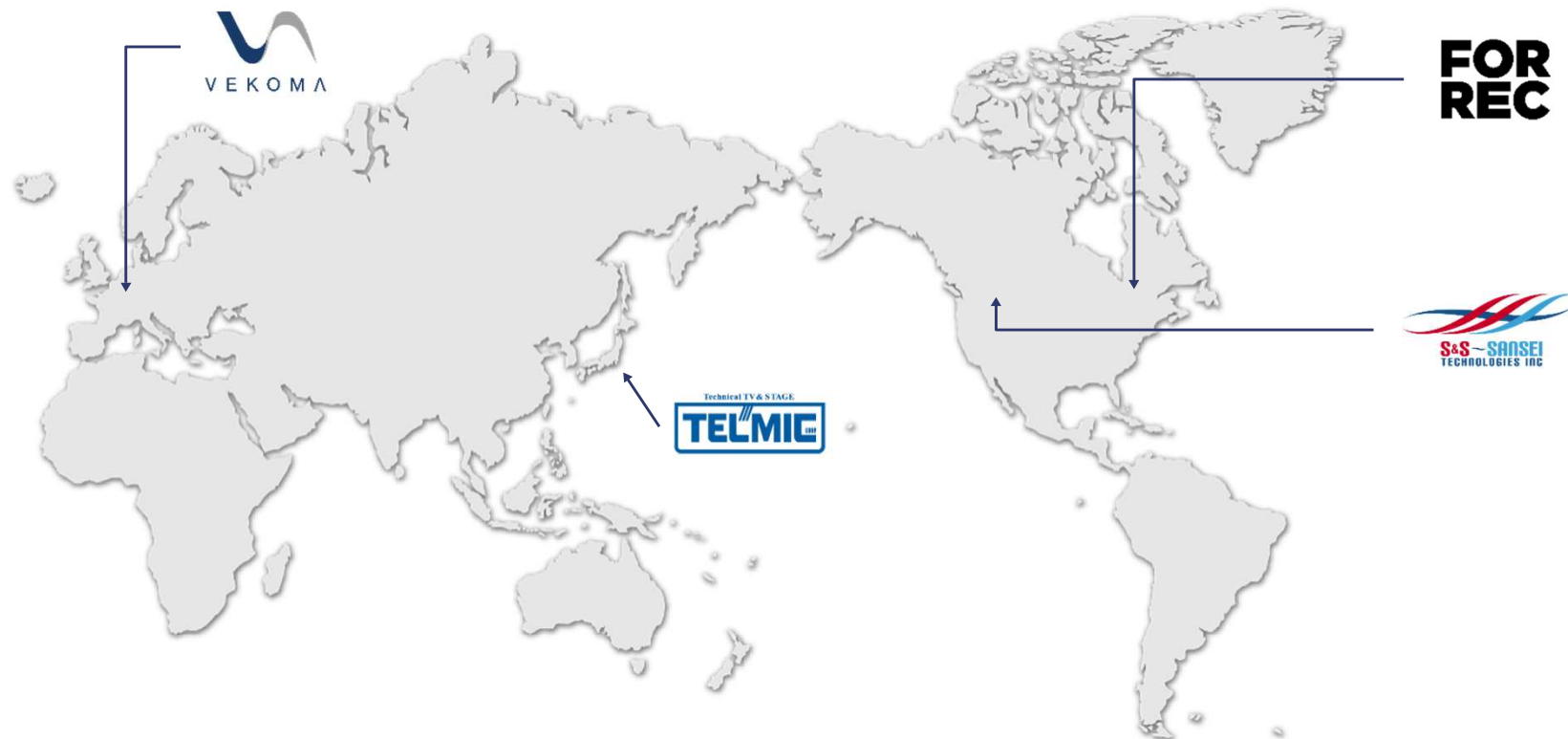
お客様を別世界へと誘う感動をお届けするバックステージを支えながら、出演者が輝くための演出プランをカタチにし、観客に最高の瞬間を提供できるように支えています。また、製品ライフサイクルの全てをサポートする充実した保守・改修体制を確立しています。



昇降機事業では、住宅用エレベーターからダム用エレベーターまで多種多様な昇降機を取り扱っております。

また、昇降機の機器管理・メンテナンス（遠隔監視、定期保守、法定点検・検査）から改修工事まで、24時間 365日、製品ライフサイクルの全てをサポートする充実した体制を確立しています。





テルミック（日本）

コンサート・テレビ番組・舞台・イベント等、常に進化し続けるエンターテインメントに対応する仮設舞台設備・電飾装置・映像コンテンツ等をご提供いたします。

S&S Worldwide(アメリカ)

スリル感あふれるライドを世界中に展開しています。ローラーコースター、スイング、タワー等の設計、製作、据付、アフターサービスをご提供いたします。

Vekoma Rides(オランダ)

高品質で革新的なコースターで知られるグローバルなリーディングカンパニーの1つです。ローラーコースター等の設計、製作、据付、アフターサービスをご提供いたします。

FORREC(カナダ)

世界中の遊園地、テーマパーク、商業施設に対して、魅力あふれるコンセプト提案、デザイン計画、コンサルティングサービスをご提供いたします。

- 当資料のいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。
また、当社は当資料の内容に関し、いかなる保証をするものでもありません。
- 投資を行う際には、必ず当社が発行する有価証券報告書等の財務資料をご覧いただいた上で、ご自身の判断でなされるようお願い致します。
- 内容につきましては細心の注意を払ってはおりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社および情報提供者は一切責任を負いかねます。
- 当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の実績等に関する見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることがあり得ます。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

この資料に関するお問い合わせは
三精テクノロジーズ株式会社

<https://www.sansei-technologies.com/contact/>

